第1回宇治市産業振興会議(要旨)

日時	司印度来派與云磯(安日) 令和元年 11 月 22 日(金) 17:30~19:00
,	
場所	宇治市役所 8 階 大会議室
出席委員	白須正(会長)、川勝健志(副会長)、有馬透、池村隆兆、紀和憲、水口大輔、
	若林哲 計7名
議事要旨	1. 開 会
	2. 委嘱状交付
	3. 市長挨拶
	4. 会長、副会長の選出
	5. 会議の公開について
	6. 議事
	(1) 宇治市産業戦略の概要について
	事務局より宇治市産業戦略の概要を説明
	(2) 宇治市産業戦略の進捗状況について
	①事業のしやすい環境づくり
	(委員)
	・現場の声を聞くことは大事なので、企業訪問は続けてほしい。
	(事務局)
	・製造業については、支援ニーズがある企業への訪問とあわせて、
	新規も含めた PR 訪問を継続して実施。非製造業については、商店
	 街や商店街や創業関係とあわせて、サービスや建設等も商工会議
	所の部会等を中心に訪問を実施。
	(委員)
	・市や商工会議所の支援制度を知らない事業者がまだあるので、よ
	く周知してほしい。
	(事務局)
	・市内金融機関や税理士・行政書士を対象とした市や会議所等の支
	援制度説明会を4月頃に開催。
	(委員)
	-
	・企業訪問により制度紹介をしていることは良いので、今後は経営
	戦略にも踏み込んで伴走型で支援していければさらによい。
	(事務局)
	・製造業については、次年度の支援方針をKRP(コーディネータ

一)と相談。非製造業については、市や商工会議所へ気軽に相談できる場所として産業会館1階スペースの活用を検討(詳細な相談は「よろず支援拠点」や「専門相談員」を活用)。

(委 員)

・定例的な会議以外に市と商工会議所のインフォーマルなコミュニケーションも図ってほしい。

(事務局)

・課長未満の職員同士のコミュニケーションの場を設ける。

(委 員)

・工業用地がないという声はよく聞くので、確保に向けて取り組んでほしい。

(事務局)

・工場用地のニーズを踏まえて、都市計画課との協議を実施。

②市内産業の成長支援

(委 員)

・マル宇の融資限度額アップを検討してもらっていることは嬉しい ので、検討を進めてほしい。

(事務局)

・継続して検討。

(委 員)

・展示会は有効的な手段であるので、補助金だけでなく展示のノウ ハウなども支援してほしい。

(事務局)

・助言方法等についてKRP(コーディネーター)へ相談。

(委 員)

・生産性の向上については、府の産業支援機関と連携することや、 それらの機関が行っていることも情報提供してほしい。

(事務局)

・今年度に引き続き、京都産業 21 や他の支援機関との情報交換を実施。

③人材不足への対応

(委 員)

・人材不足は深刻であり、通常の方法では雇用の確保は難しいので、 外国人の活用についても相談会や支援策を考えてほしい。

(事務局)

・まずは外国人雇用に関するセミナーを開催。企業から外国人の居 住に関する要望等があった際には関係課へ伝達。

(委 員)

・雇用で悩んでいる中小企業は多く、面接までも至らないことが多いため、工場見学をはじめ、いろいろと進めてほしい。

(事務局)

・会社説明会や合同企業説明会等に加えて、親世代や大学キャリア センター職員を対象にした市内企業見学ツアーの実施等を検討。

(委 員)

・人材不足は深刻であり、中小企業でもすばらしい企業があること を知ってもらう一方で、企業側が就労環境を良くしていくことも 大事であり、それらのための補助金制度も活用してもらえるよう に情報発信してほしい。

(事務局)

・就労環境の良い事例を市内企業へ紹介(方法は今後検討)。

(委 員)

・学生にとって仕事自体の魅力も大事であるが、働く環境も重視している。採用活動に当たっては、若い人の価値観が違ってきていることを認識することが大事。

(事務局)

・大学生との意見交換を継続(現在は文教大、他の大学も検討)。

(委 員)

・人材確保は、宇治市自身が魅力的になることと、企業の努力が相 まって進めていくべき。

(事務局)

・市内の企業や起業家の情報を発信。

④企業間や産学交流の推進

・特に意見なし。

⑤市内産業の情報発信

(委 員)

- ・情報発信のツールとして、SNS の活用は不可欠。
- ・行政がつくる WEB サイトは良くないので、民間のスキルを使って 効果的にやるべき。

(事務局)

・産業振興課及び商工会議所にて情報発信WGを立ち上げて検討。

⑥事業の担い手の確保

(委 員)

・起業拠点については、宇治市の立地条件を踏まえて、この場所で 何ができるのか十分に考えてほしい。

(事務局)

・産業会館については、R1年度中に検討と設計、R2年度上半期に改修工事を予定。産業振興センターについては、R2年度に政策研究として今後のあり方を検討。

(委 員)

- ・工業用地については売手市場であり、宇治市にとって良いと思う 企業を誘致すべき。
- ・企業誘致は宇治市が目指すビジョンと合う企業を誘致することが 大事。

(事務局)

・まずは市内製造業の拡張用地、市外は製造業を中心に立地希望状 況を踏まえて検討。